

学会ニュース
--------

1. 第11回年次大会（2022年9月1～2日）報告
2. 部会（2022年12月～2023年5月）報告
3. 第12回年次大会（2023年9月7～8日）案内

## 1. 第11回年次大会報告

---

- ・日 程 2022年9月1日（木）～2日（金）
- ・場 所 慶應義塾大学日吉キャンパス来往舎およびオンライン（ハイブリッド）
- ・主 催 企業と社会フォーラム
- ・本大会プログラム委員会
  - ・岡田正大（慶應義塾大学大学院経営管理研究科教授）
  - ・谷本寛治（早稲田大学商学学術院商学部教授）
- ・テ ー マ 「デジタル・トランスフォーメーション（DX）による社会的価値の創出：  
持続可能性（SD）実現におけるデジタル技術の役割」

企業経営、公的セクター、非営利セクターの如何を問わず、デジタル技術による変革（Digital Transformation, DX）は経営トップ喫緊の課題とされ、DX推進の勢いはとどまることを知りません。2000年前後を基点とするネット革命の潮流は、昨今のIoT、AI、データ分析手法、通信技術の急速な進歩によりさらに加速しています。さらに世界的なCOVID-19のパンデミックは、ITの果たす重要な役割を強く印象付けました。企業と社会はこうした変革を持続可能性を前提として進めていかねばなりません。

2022年JFBS年次大会では、デジタル・トランスフォーメーション（DX）による社会的価値の創出に向け、持続可能性（SD）実現におけるデジタル技術の役割について議論しました。（詳細は本誌をご覧ください。）

・プログラム

&lt;大会 1 日目：2022 年 9 月 1 日&gt;

10:30-11:30	JFBS 理事会
11:30-12:00	JFBS 総会
12:00-13:00	受付
13:00-13:05	<b>Opening Remarks</b> ・ Masahiro Okada (President, Japan Forum of Business and Society / Professor, Graduate School of Business Administration, Keio University, Japan)
13:05-14:30	<b>Keynote Speech</b> ・ 宮田裕章 (慶應義塾大学医学部医療政策・管理学教室教授) ・ 福田譲 (富士通 執行役員 Executive Vice President CIO, CDXO (最高デジタル変革責任者) 補佐) 【司会】 岡田正大 (慶應義塾大学大学院経営管理研究科教授)
14:30-14:40	休憩
14:40-16:00	<b>Plenary Session 1 “Digital Transformation (DX) : Social Value Creation, Sustainability, and The Role of Digital Technologies”</b> ・ 南雲岳彦 (スマートシティ・インスティテュート 専務理事) ・ Daniel McFarlane (Director, The Centre of Digital Technology & Society, School of Global Studies, Thammasat University, Thailand) 【Chair】 Kyoko Fukukawa (Professor, Graduate School of Business Administration, Hitotsubashi University, Japan)
16:00-16:30	休憩
16:30-18:00	<b>Breakout Session Organized 1 「地方創生×DX」</b> ・ 工藤祐太 (アクセンチュア ビジネスコンサルティング本部 コンサルティンググループ プリンシパル) ・ 西村潤也 (小田急電鉄 次世代モビリティチーム 統括リーダー 兼 DX 推進・スマートシティ担当) ・ 諸井眞太郎 (凸版印刷 DX デザイン事業部 スマートシティ推進部部长 / ZETA アライアンス 代表理事) 【司会】 今津秀紀 (凸版印刷マーケティング事業部 SDGs プロジェクト部長)
	<b>Session 1 (CFP) “Social Inclusive Business”</b> 1. Bongi Kgeresi (Doshisha University, Japan) “Exploring various opinions, attitudes, experiences, and perceptions of ethical decision-making in the corporate context in South Africa - Do ethics matter?” 2. Marat Fayrushin (ABCCOM., Russia) “AI vs Russian Labor Law: transparency as matrix for digital transformation” 【Chair】 Yoshitaka Okada (Tokyo International University, Japan)

<大会 2 日目：2022 年 9 月 2 日>

9:00-10:30	<p><b>Breakout Session Organized 2 「サプライチェーン×DX」</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大我 猛 (SAP ジャパン 常務執行役員 チーフ・トランスフォーメーション・オフィサー)</li> <li>・加賀谷哲之 (一橋大学商学部教授)</li> <li>・川口洋平 (武田薬品工業 GMS コーポレート EHS EHS ジャパン エンバイロメント リード)</li> <li>・茂呂正樹 (EY ジャパン 気候変動・サステナビリティサービス アソシエートパートナー)</li> </ul> <p><b>【司会】 岡田正大 (慶應義塾大学大学院経営管理研究科教授)</b></p> <p><b>Session 2 (CFP)</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. Ahmed Gened and Philip Sugai (Doshisha University, Japan) “Study of Digital Transformation Success in Energy Sector: The Case of Egypt”</li> <li>2. 大驛潤 (中央学院大学) 「DX 時代の会計業界の戦略課題：スタートアップ時のアントレプレナーの戦略形成」</li> <li>3. 井原美恵 (慶應義塾大学／Bella コンサルティング) 「地域クラスターが有する競争力の源泉 — 地域経済創生に必要なケイパビリティの解明」</li> </ol> <p><b>【司会】 岡本大輔 (慶應義塾大学)</b></p>
10:30-10:50	休憩
10:50-12:20	<p><b>Breakout Session Organized 3 “金融×DX”</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・Justin Balogh (President &amp; CEO, TORANOTEC, Japan)</li> <li>・Kazunori Ohmae (CEO, Elevate. Former CEO of Crowd Securities Japan, Japan)</li> <li>・Atsushi Ohtaka (Representative Director and CEO, Transaction Media Networks, Japan)</li> </ul> <p><b>【Chair】 Hiroshi Amemiya (Partner, Head of Japan and Korea, ESG Book Japan, Japan)</b></p> <p><b>Session 3 (CFP)</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 田頭拓己, 福川恭子, 松井剛 (一橋大学) 「ソーシャルメディア炎上における倫理的意思決定と消費者行動」</li> <li>2. 若林基治 (国際協力機構 (JICA)) 小野美和 (デロイト トーマツ コンサルティング) 「児童労働問題解決に向けたブロックチェーントレーサビリティシステムの構築—コートジボワールのカカオ産業における実証実験—」</li> <li>3. 熊沢拓 (ソーシャルインパクト・リサーチ) 「サステナビリティガバナンスのメカニズム—役員報酬における ESG 指標の有効性と実効性」</li> </ol> <p><b>【司会】 大平修司 (武蔵大学)</b></p>
12:20-13:20	昼食
13:20-14:50	<p><b>Breakout Session Organized 4 「B Corp コミュニティにおけるデジタルと社会的価値」</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・Dave Mateo (ダノンジャパン シニア・パブリックアフェアーズ・アンド・サステナビリティ・マネージャー)</li> <li>・小田一枝 (オシンテック 番頭)</li> <li>・山本奈未 (山本山 USA 社長)</li> </ul> <p><b>【司会】 土肥将敦 (法政大学現代福祉学部教授)</b></p> <p><b>Session 4 Doctoral Workshop</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. Bolun Zhang (Waseda University, Japan) “What Impacts Acquirers’ Perception of Targets’ Corporate Social Performance in Cross-border M&amp;As? — An Analysis of Foreign Entries into the American Market”</li> </ol>

	<p>2. Peiwen Chew (Massey University, New Zealand)  “Addressing Societal Grand Challenges: The Role of Sustainability Leadership in Business”</p> <p><b>【Mentor】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Kyoko Fukukawa (Hitotsubashi University, Japan)</li> <li>・ Shuji Ohira (Musashi University, Japan)</li> <li>・ Masahiro Okada (Keio University, Japan)</li> </ul>
14:50-15:10	休憩
15:10-16:30	<p><b>Plenary Session 2 “Digital Transformation (DX): Social Value Creation, Sustainability, and The Role of Digital Technologies”</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 岡田正大（慶應義塾大学大学院経営管理研究科教授）</li> <li>・ 雨宮寛（Partner, Head of Japan and Korea, ESG Book Japan）</li> <li>・ 土肥将敦（法政大学現代福祉学部教授）</li> </ul> <p><b>【司会兼パネリスト】</b> 今津秀紀（凸版印刷 マーケティング事業部 SDGs プロジェクト部長）</p>
16:30-16:40	<p><b>Closing Remarks</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Masahiro Okada (President, Japan Forum of Business and Society / Professor, Graduate School of Business Administration, Keio University, Japan)</li> </ul>

## 2. 部会報告

### 第36回東日本部会

- ・日 時：2022年12月23日（金）14：00～17：00
- ・場 所：オンライン（Zoom）
- ・テーマ：正しいビジネス“JUST BUSINESS”とは？  
 ※注：この“Just Business”という言葉は、2011年に国連の人権理事会で認められた「ビジネスと人権に関する指導原則」の起草に携わった、ハーバード大学ケネディスクールのジョン・ラギー教授の著書タイトルでもあります。  
 多様なビジネスプロセスにおける人権課題をどのように捉え、どう企業として適応し、ひいては自社の経営能力を強化していくのか。  
 例として、児童労働、労働条件、紛争鉱物、製造者責任、健康や環境への被害、個人情報管理、自主検閲の是非、性別や国籍による不公平性など、人々の基本的な人権（生命・財産・居住・学問・労働・経済活動の自由、社会的身分や国籍・性別による差別のない社会、健康で文化的最低限度の生活など）とビジネスに関わるテーマで報告しました。
- ・講演者・報告者等：
  - (1) 「ビジネスにおける公正性とステークホルダー経営資源論」  
 【報告者】岡田正大教授（慶應義塾大学大学院経営管理研究科）
  - (2) 「ビジネスと人権」に関する指導原則の一般原則の展開とロシアのウクライナ侵攻  
 【講演者】菅原絵美氏（大阪経済法科大学 国際学部教授）
  - (3) 人権及び労働に関する企業開示の状況  
 【報告者】雨宮寛氏（アラバスクグループ パートナー&日本支店代表）
  - (4) 人権を巡るルールメーカーの動きと人権デューデリジェンスの実務概要  
 【講演者】名越正貴氏（EY 新日本有限責任監査法人・シニアマネージャー）
- ・司 会：岡田正大（慶應義塾大学大学院経営管理研究科教授）

### 第37回東日本部会

- ・日 時：2023年3月18日（土）13：00～16：00
- ・場 所：オンライン（Zoom）
- ・テーマ：企業と大学における持続可能性教育：経営や教育へいかにSD（Sustainable Development）を統合するか
- ・講演者・報告者等：
  - (1) ESDの理想と現実  
 【講演者】一橋大学教授 福川恭子氏
  - (2) Do Local Government Sustainability Initiatives Impact Corporate Social Responsibility Practices? (日本語)  
 【報告者】吉田賢一氏（九州大学工学研究院環境社会部門 都市研究センター 特任助教）
  - (3) サステナブル・アントレプレナーシップの普及—地域再エネ事業の事例研究（自由論題、日本語）  
 【報告者】手嶋進氏（千葉商科大学 基盤教育機構准教授／千葉商科大学大学院政策研究科（博士課程）2年）
  - (4) Sustainability Leaders in University Education: A Case Study of Academics' Motivations and Challenges for Sustainability Integration  
 【報告者】Anh Chau Cong Nguyen\* and Sumire Stanislawski\*\*

\* Master's Student, School of Social and Political Sciences, University of Glasgow, Scotland; Department of Economics History, Uppsala University, Sweden (corresponding author)

\*\*Associate Professor, Institute for International Strategy, Tokyo International University, Japan

・ 司 会：福川恭子教授（一橋大学大学院経営管理研究科）

岡田正大教授（JFBS 会長／慶應義塾大学大学院経営管理研究科）

#### JFBS シンポジウム

・ 日 時：2023 年 5 月 13 日（土）13：00～15：00

・ 場 所：オンライン（Zoom）

・ テーマ：ESG の潮流への戦略的対応：企業がコンプライアンスを超えて競争力を向上させるには？

・ 講演者等：

(1) Kirei Lifestyle Plan 花王の ESG 戦略と具体的取組

【講演者】畑中晴雄氏（花王株式会社 ESG 部門 ESG 戦略部 ESG 戦略スペシャリスト）

【ファシリテーター】牛島慶一（JFBS 理事／EY 新日本有限責任監査法人プリンシパル）

(2) 共創型化学会社に向けて—レゾナックグループのサステナビリティ戦略—

【講演者】松古樹美氏（株式会社レゾナック・ホールディングス サステナビリティ部部長）

【ファシリテーター】岡田正大（JFBS 会長）

(3) パネルディスカッション

【Chair】岡田正大（JFBS 会長）

【討論者】・シンポジウム参加者

・畑中晴雄氏（花王株式会社 ESG 部門 ESG 戦略部 ESG 戦略スペシャリスト）

・松古樹美氏（株式会社レゾナック・ホールディングス サステナビリティ部部長）

・ 司 会：岡田正大（慶應義塾大学大学院経営管理研究科教授）

### 3. 第12回年次大会の内容

---

- ・日 程 2023年9月7日(木)～8日(金)
- ・場 所 慶應義塾大学日吉キャンパス来往舎
- ・主 催 企業と社会フォーラム
- ・本大会プログラム委員会
  - ・土肥将敦(法政大学現代福祉学部教授/第12回大会委員長)
  - ・岡田正大(慶應義塾大学大学院経営管理研究科教授)

- ・テ ー マ 「危機を乗り越えて：人・市場・社会をめぐる新たなパラダイムへ」

新型ウイルスによって繰り返されるパンデミック、気候変動によって頻発する自然災害、そして欧州・ユーラシア・アジアにおける地政学リスクの増大など、世界の不確実性は著しく増大しています。その結果、これまでのESGの潮流を無視するような混乱した状況が世界中に散見され、企業そして社会は様々な〈危機(Crises)〉に直面しています。また日本国内では、東日本大震災以降も毎年各地で自然災害が発生しており、われわれはこれら災害からの教訓をどのように企業や組織の経営に組み込むかが問われています。次々にわれわれを襲うこうした困難や課題を克服するためには、〈従来のやり方〉や〈一時的な危機対応〉だけでは根本的解決にはならず、今までの常識を打ち破る新たな発想やビジネスモデルの構築が求められています。こうした〈危機〉に関しては、すでにリスクマネジメントやBCM(Business Continuity Management:事業継続マネジメント)、レジリエンス経営など様々な研究領域で活発に議論が行われてきています。こうした知見に加え、全くの異分野からの発想をも活用しながら、ポストコロナ時代における〈新しい日常や秩序:New Normal Order〉を目指した、オルタナティブな社会経済システムと新しい市場社会を構想することは、日本のみならず社会全体における喫緊の課題といえるでしょう。

本年次大会では、社会全体や産業界に生じている多様な「危機」を発想の主たる発端としつつ、企業や組織が〈人(people)〉を含むわれわれの多様なステイクホルダーとどのような関わり合いを持ちながら社会的価値を生み出し、新しい持続可能な〈市場(market)〉や〈社会(society)〉を構築できるのか、またそうした様々な〈危機(Crises)〉をどのように乗り越えることができるのかについて、学術的、実務的な観点から多角的に検討していきます。

本年次大会に関連するテーマやトピックには、次のようなものが挙げられます(但し、この限りではありません)。

1. 危機と人間：人間の安全保障、ビジネスと人権、ビジネスと政治、ビジネスと公正性、ビジネスと平和、危機を越えた Well-being のあり方
2. 危機と市場：組織における危機管理、レジリエンス、サプライチェーン、災害時における利他性、BCP/BCM、新しいビジネスモデルの構築、アジャイル経営
3. 危機と社会：災害時における意思決定、ビジネスと環境問題、ボランティアマネジメント

多くの参加者の皆様によって、新しい議論が提起されることを期待しています。

・ 主な内容 < Keynote Speech >

- ・ Eugene Chien, Ph.D. (Ambassador-at-large, Taiwan R.O.C/ Chairman and president, TAISE)
- ・ Kanji Tanimoto (Waseda University)

< Plenary Session >

- ・ Eugene Chien, Ph.D. (Ambassador-at-large, Taiwan R.O.C/ Chairman and president, TAISE)
- ・ Kanji Tanimoto (Waseda University)
- ・ 竹ヶ原啓介氏 (日本政策投資銀行)
- ・ 石川善樹氏 (公益財団法人 Well-being for Planet Earth 代表理事。予防医学研究者, 博士 (医学))
- ・ 【Chair】 Professor Doi/Professor Okada

< 企画セッション >

1. 人：Well-being
2. 人：ビジネスと人権
3. 社会：環境・気候変動・生物多様性
4. 市場：地政学リスクとサプライチェーン

最新の詳細プログラムは、学会ウェブサイトを参照ください。

[https://j-fbs.jp/annualconf\\_2023.html](https://j-fbs.jp/annualconf_2023.html)